

～製作活動 ユリの花作り～

皆様、梅雨明けも近づいている中、如何お過ごしでしょうか？これから夏本番を迎えますので熱中症にご注意頂ければと思います。さて、ほのぼの堀之内では指先の運動や認知機能への働きを兼ねて、製作活動を行っています。今回の題材は「ユリ」です。

まずは作るユリの色選びから始めて頂きました、お手本のユリを見ながら折り紙の色を選んで頂きます。色が決まったら、大きさによって折り紙を重ねて貼ったり、小さいまま使用したりします。隣に職員が付いて手順に沿って折って頂き、出来た物に台紙を合わせ鉛筆で線を引き、引いた線に合わせてハサミで切って広げていきます。広げて糊付けした花の先を鉛筆で巻いてユリの花びらの広がりを作っていきます。完成したユリは竹籠に飾り付けをしてフロアーに飾りました。

細かい箇所もあり、小さいお花を作る事は難しいかもと考えていたのですが、回数を重ねるごとに、皆様の手つきが良くなり、段々と細かい花も作れるようになりました。竹籠に飾ってみると、壁等に貼るのと違い、立体的な表現が栄え、どの向きから見ても素敵な飾りが出来ました。テーブルの真ん中に置くと「綺麗ね～」「明るくなるわね～」とご利用者同士のお話のきっかけにもなっていました。



～回想法の報告

夏の風物詩といえば何を思い出しますか？～

今回の回想法は「夏の風物詩」をテーマにしています。

昭和初期の夏の日常を撮った写真や夏に食べるもの・夏に使う物の写真をいくつか用意して、皆様にお話しをして頂いています。

タライで水浴びをしている子供の写真をご覧になると「息子が子供の頃水浴びをさせる為にタライに入れたのを思い出すわ～」かき氷の写真をご覧になると「私のところではコオリミズって呼んでね～」と当時を懐かしんでお話しをされていました。

職員が風鈴の音色って最近聞きませんか？と尋ねると「そういえばそうね～私は風情があって好きなのに」「音色を聞くと涼しくなるのよね～」とお話しされ、ご利用者同士の話題にもなっていました。回想法を行う事で、過去を自然と思い出そうとする行為は、前頭葉・側頭葉が良く働く事が知られています。またご自身の若い頃、活動的に過ごしていた楽しい日々を思い出す事は主体的に幸福感を感じて頂く事が出来ます。それが総合的に心の安定に繋がっています。

懐かしい話をしている時は皆様穏やかな表情でいつもお話しされているのが印象的です。



～コロナウイルスの流行状況について～

令和5年5月から新型コロナウイルスが「5類感染症」に位置付けられる事になり、それに伴い行動制限の解除・マスク使用の個人の判断等多くの制限が解除されました。また感染者数の報告も全医療機関からの日次報告の全数把握も終了となり、一部医療機関の定点観測が週次報告となっています。感染者数は下記の通り1医療機関あたりの感染者数も増加傾向にあり、近隣の高齢者施設等でも発生の情報が入っています。日常を取り戻し安堵しているところではありますが、引き続き感染症対策にご理解・ご協力頂きますようお願い致します。

| ～6月11日 | ～6月18日 | ～6月25日 | ～7月2日 |
|---------------------|--------|--------|-------|
| 5.99人 | 5.85人 | 6.22人 | 6.85人 |
| ※1医療機関当たり・感染者数は発表時点 | | | |